

車いすバスケット 52人体験

加西・善防中の1年生



障害者スポーツ理解深め

加西市両月町、善防中学校で4日、車いすバスケットボールの体験授業があった。1年生52人が車いすを使って競技を楽しみ、障害者スポーツへの理解を深めた。

車いすバスケットボールを楽しむ生徒たち＝善防中学校

た。

講師を務めたのは、姫路市を拠点に活動する団体「チームWeB(ウェブ)」。県内を中心に小中高校や大学で車いすバスケットの体験授業を行い、障害者と健常者の共生を目指している。

生徒らは、車輪がハの字になった競技用車いすの構造やルールの説明を受けた後、車いすに乗って体育館内を動き回った。

続いて7人ずつに分かれてクラス対抗試合に挑戦。生徒らは、衝突しながら懸命に車輪を回し、ボール

を追い掛けた。バスケットボール部と同団体との試合では、車いすバスケットの元日本代表坂本智選手(35)らが華麗な動きを披露した。

参加した福本鈴さん(13)は「思ったより操作が難しかったけれど、楽しかった。車いすでこれだけ動けるんだ、と分かった」と声を弾ませた。

(森 信弘)